

必要経費の目安

ご旅行代金の他に別途下記の料金がかかります。
※詳細は、渡航手続き書類にてご案内申し上げます。

- ◆空港施設使用料 / 国際観光税 / 海外空港税・燃油特別付加運賃 (35,000 円) 上記は 2025 月 7 月現在の金額です。航空券の発券時点でレートは変動いたします。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
- ◆渡航手続諸費用 (パスポートを新規取得、更新の方): パスポート新規申請代 (5 年用 11,000 円 / 10 年用 16,000 円 / 各自自治体の戸籍謄本・住民票発行手数料や写真代別途要) このご旅行には 2026 年 6 月 3 日以降のパスポート有効期限が必要です。(＋2 週間以上の有効期限が望ましい)
- ◆お一人部屋追加料金: 45,000 円 (ホテルは基本 2 名一室です)
- ※お一人参加で相部屋をご希望の場合、最終的な部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することがございます。予めご了承くださいませ。
- ◆任意の海外旅行保険
- ◆超過手荷物料金: 規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
- ◆個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用 (食事代、飲み物代・自由行動時の諸費用等)
- ◆ご自宅～発着空港までの交通費



ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。この旅行は2025年7月1日現在を基準としています。
■旅行契約の解除参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。
この場合は出発の23日前迄にお知らせします。
<取消料>
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。
<解除時期・取消料>

契約の解除期日	取消料
31日目にあたる日以前の解除	無料
30日目にあたる日以降の解除	旅行代金の20%
29日目にあたる日以降の解除	旅行代金の50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	旅行代金の100%

ご旅行要項

- 旅行代金に含まれるもの
①企画手配料金および手配料金 ②交通費: 旅程に明示した航空運賃、旅程に明示した専用車料金 ③宿泊費: 旅程表に明示したホテル又は同等クラスのホテル(弊社基準)基本宿泊料および税、サービス料 ※基本2名一室 ④食事代(旅程表に明示) ⑤見学施設の入場料 ⑥ガイド代 ⑦現地協力者の謝礼・同行費用・交流代 ⑧通訳者・講師謝礼・同行費用 ⑨添乗員1名同行費用
- 旅行代金に含まれないもの
①旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
②超過手荷物料金: 規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金 ③個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用・食事の時の飲み物代・自由行動時の諸費用等 ④航空会社が課す 成田空港施設使用料・国際観光税・海外空港税・燃油特別付加運賃(35,000 円)2025月7月現在※航空券の発券時点でレートは変動します。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。 ⑤ 海外旅行傷害保険料 ⑥日本国内の交通費、前泊の費用 ⑦お一人部屋料金(45,000円)

旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業第84号 JATA正会員

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで



株式会社

富士国際旅行社

〒231-0062神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4
総合旅行業務取扱管理者: 西須 輝理

TEL: 045-212-2101 FAX: 045-212-2201

fujikokusaionline@gmail.com 担当: 西須・山田・伊藤・川村・小島

営業時間: 月～金曜日 / AM10:00～PM6:00
(休業日: 土日・祝日)
ホームページ: http://www.fits-tyo.com/

お申込方法

- ①【紙でお申込みの場合】下記の予約票にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送またはFAXでお送りください。予約票が届き次第、旅行社より取引条件説明書面とお申込書を他の必要書類とともにお送りいたします。
- ②【ウェブで仮予約の場合】下記QRコードにアクセスし、仮予約フォームを送信下さい。
- ③弊社よりお送りするご案内書面に記載の銀行またはゆうちょ銀行に、**申込金50,000円**(旅行代金内金)をご送金ください。(申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込)
- ④ツアー実施確定後、弊社よりご連絡いたします。
- ⑤出発2～3週間前に旅行説明会を行います。(オンラインと会場両方可)

..... き・り・と・り

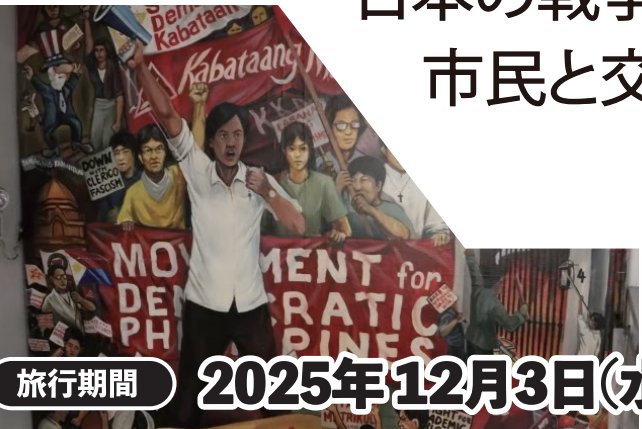
参加予約票

株式会社 富士国際旅行社 宛

マニラ市街戦から80年 日本の戦争加害を学び市民と交流する旅

2025年12月3日(水)発

パスポート ローマ字表記	_____	性別	生年月日	年 月 日生れ () 才	ウェブ仮予約はこちらから↓
氏名		男・女	パスポート	有効旅券(パスポート)【有・無】 パスポート番号: 有効期限: 年 月 日	
住所	(〒 _____)				
連絡先	【tel】(_____) _____ 【携帯】 _____ 【e-mail】 _____				



旅行期間

2025年12月3日(水)～12月7日(日) 5日間

旅行代金

295,000円

※費用の他に航空便費用に付随する海外空港税・航空保険料等・成田空港施設使用料・保安料35,000円がかかります。発券時のレートにより変動いたします。差額は返金・又は集金させていただきます。

定 員

20名様

(最低実施人員8名)

添 乗 員

成田空港から1名同行します。

※最少催行人数8名以上の場合は添乗員1名同行します。参加者5名以上～8名未満の場合は、添乗員同行なしにて実施いたします

申込締切

第一次:10月3日(金)
最終:11月4日(火)

※締切日以降も航空便とホテルに空席があればご参加いただけます。旅行社へお問い合わせください。

旅 の ポ イ ン ト



01 ◎ 日本の戦争加害の実態について、専門家から学びます

02 ◎ 日本軍性暴力被害、マニラ市街戦の記憶継承などに
取り組む団体と交流します

03 ◎ 反核や環境などの分野で活躍する活動家とも交流します

ツアー企画・同行通訳
中村みずきさん

脱軍事化、脱植民地化を主なテーマに通訳・翻訳、執筆、ツアー企画などをおこなう。訳書にデニ・ムクウェゲ著「勇気ある女性たち 性暴力サバイバーの回復する力」(大月書店)

※写真はすべてイメージです

旅行企画・実施

Peace Green Humanity
(株) 富士国際旅行社

〒231-0062
神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4

旅程表			
日次	都 市	交通機関	行程・宿泊地・食事(朝・昼・夕)
① 12/3 (水)	成 田 空 港 発 マ ニ ラ 着 空 港 発 ケ ソ ン シ ティ 着 ホ テ ル 着	航空機 専用車	空路 ✈ フィリピン航空で首都マニラへ(空港集合:午前7時30分予定) 【所要:約5時間半、時差:日本側が1時間進んでいます】 着後:フィリピン大学・第三世界研究所にて歴史学教授による説明 ホテルにチェックイン ■夕食 マ ニ ラ 泊 B × L 機 D R
② 12/4 (木)	ホ テ ル 発 ホ テ ル 着	専用車	終日:ケソン市内見学と交流 *英雄記念博物館 >>マルコス独裁時代の記憶と記録をとどめる博物館と追悼の壁 *リラ・ピリピーナ(日本軍性暴力被害者の支援団体)と交流 ▲昼食 *女性博物館で現地の活動家と交流 ■夕食 マ ニ ラ 泊 B H L R D R
③ 12/5 (金)	ホ テ ル 発 マ ニ ラ 着 ホ テ ル 着	専用車	終日:マニラ市内見学と交流 *イントラムロス(サンチャゴ要塞など)歴史家シャオ・チュア氏による案内 ▲昼食 *「メモラレー・マニラ 1945」と交流 ■夕食 マ ニ ラ 泊 B H L R D R
④ 12/6 (土)	マ ニ ラ 発 タルラック州 着 パンパンガ州 着 ホ テ ル 着	専用車	タルラック州/カパス・ナショナル・シュライン(「バターン死の行進」犠牲者の慰霊碑) パンパンガ州/パミントゥアン邸宅、クマンダー・リワイワイ博物館(日本軍に父親が殺されたことをきっかけに抵抗組織に入り闘った女性兵士) ■夕食 マ ニ ラ 泊 B H L R D R
⑤ 12/7 (日)	ホ テ ル 発 空 港 着 マ ニ ラ 発 成 田 空 港 着	専用車 航空機	*リサール公園(市民の憩いの場でもある広大な公園) >>日本庭園「広島石」前で原爆投下80年の追悼と交流 専用車でマニラ空港へ 空路 ✈ 直行便で帰国の途へ 【所要:4時間半】 (成田空港到着:20時00分頃予定) B H L X D 機
● 注意 現地の都合により、訪問順序・日時が入れ替わる場合がございます。 ● 利用航空会社 : フィリピン航空、日本航空、全日本空輸いずれか ● 宿泊予定ホテル: マニラホテルまたは同等レベル ● 旅程表のマーク: B=朝食、L=昼食、D=夕食、H=ホテルで、R=レストランで、X=自由食、機=機内食			

核兵器廃絶の必要性を訴えるために団結する、平和、正義、反核活動家やアーティストなどの集団。2020年から毎年、「広島石」がフィリピンに寄贈された8月21日に、一般市民に開かれた記念行事を国立公園開発委員会(NPDC)と協力して開催しています。



【正式国名】フィリピン共和国 【人口】約1億1560万人
【言葉】タガログ語 【時差】日本より1時間遅れ
【通貨】フィリピン・ペソ
【食べ物】歴史的に様々な国の影響を受けているフィリピンでは多国籍料理が楽しめます。主食は米で、味付けにはココナッツや魚醤がよく使われます。南国ならではのフルーツも魅力的です。
【気候】フィリピンの気候は熱帯性気候。年間を通じて暖かく、年平均気温は26～27℃。6～11月が雨期、12～5月が乾期に分かれています。

現地の気温(12月)	都市	最低気温	最高気温
	マニラ	24℃	30℃
	東京	7℃	12℃

1941年12月8日（日本時間）日本は真珠湾を攻撃し、アジア太平洋戦争を開始。1942年1月日本軍はフィリピンに侵攻し、同年4月にバターン半島を占領しました。米軍やフィリピン兵の捕虜を最長百キロ強制的に歩かせた「バターン死の行進」による死者は、1万人とも言われています。マニラ市街戦は、1945年2月3日から約1か月間におよんだ、マニラ奪還を目指す米軍と抵抗する日本軍との戦闘です。市民10万人が犠牲になり、特にスペイン時代の要塞都市イントラムロスで、日本軍は多くの市民を虐殺しました。アジアでは最大規模の市街戦となり、マニラの町は灰燼に帰しました。このツアーでは、マニラ市街戦の犠牲者追悼と記憶継承に取り組む団体「メモラーレ・マニラ 1945」との交流を予定しています。



フィリピンの独立運動家で国民的英雄のホセ・リサールの名が付けられた公園。ホセ・リサール記念像が建っており、その下には彼の遺体が埋葬されています。現在は市民の憩いの場として賑わい、園内には日本庭園・中国庭園・国立図書館・国立博物館などがあり、日本庭園内に「ひろしま・祈りの石国際教育交流財団」より寄贈された「広島石」が展示されています。石が寄贈された8月21日（1991年）には毎年、平和団体が国立公園開発委員会とともに記念行事を開催しています。

アジア太平洋戦時下のフィリピンにおいて「慰安婦」として日本軍による性暴力被害を受けた女性達と支援者によって、1992年に設立された人権団体です。サバイバーのロラ（フィリピン言葉でおばあさん、親愛を込めて呼ぶ）の生活福祉支援を行うとともに、日本政府に対して公式謝罪と法的補償、歴史教育を求める抗議活動等を行う組織です。その他にもロラに対するケアとして様々なプロジェクトを展開しています。

1965年～86年の20年間マルコス政権の圧制を経験したフィリピン。独裁政権の下、多くの人々が投獄・拷問され犠牲も多数出ました。英雄記念博物館は、そうした民主主義獲得への犠牲の記憶を後世に引き継ぐため2007年にオープンしました。同志や遺族によって運営され、独裁政権時の様子を伺い知ることができる貴重な場所です。博物館が位置するのはマニラの北東に位置するケソン市。この場所は1986年に打倒マルコス政権の大規模蜂起が市民によって行われた場所です。

リサル公園の北側にある16世紀のスペイン統治時代に造られた旧城塞都市です。当時は政治・軍事・宗教の中心地として機能しました。イントラムロスはスペイン語で“壁の内側”を意味します。第二次世界大戦で建物の大部分が破壊されましたが、1980年代に町が復旧されました。現在世界遺産にも登録されており、イントラムロスに存在するサン・アグスティン教会は第二次世界大戦を経て、唯一現存する建物です。

▼サンチャゴ要塞

